

サル痘ウイルス「国内侵入を防げ！」

プレシジョン・システム・サイエンス（PSS、田島秀二社長、本社・千葉県松戸市）は、サル痘ウイルス（Monkeypox virus）の日本国内への侵入と伝播防止に向け、セルテスト社（本社・スペイン・サラゴサ市）のサル痘ウイルスDNAを検出するPCR検査キット「VIASURE Monkeypox virus Real-Time PCR Detection Kit」の写真を7月1日から販売開始した。

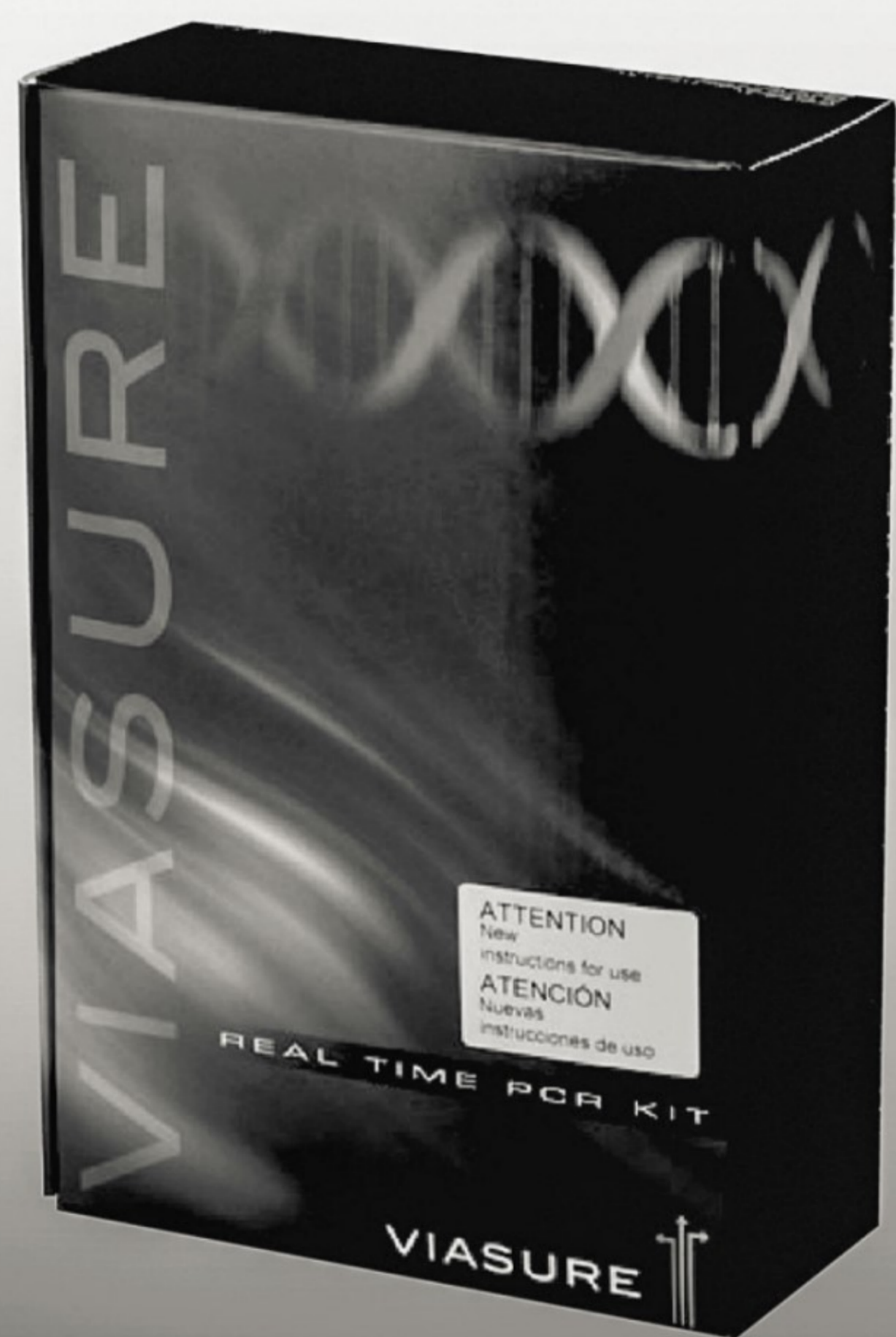
同製品は、ヒト由来試料中のサル痘ウイルスDNAにおけるG2RとF3Lの2領域を、リアルタイムPCR法により検出する研究用試薬である。

セルテスト社は、患者の皮膚病変ぬぐい液、のどぬぐい液、小胞液、小胞ぬぐい液、血清を試料として、陽性の検査結果が得られたことを報告している。

検査キットの内容量は96テスト分。凍結乾燥試薬であり常温（2〜40度C）で保管できる。PSSは、このリアルタイムPCR検査キットを同社販売の全自動PCR検査装置「ジーンリード エイト」へ適用する予定である。

また、サル痘ウイルスによる皮疹の類症の一つとされる、水痘・带状疱疹ウイルスによる症状との鑑別のために、ヘルペスウイルス1&2、水痘・带状疱疹ウイルスDNA PCR検査

リアルタイムPCR検査キット PSSが発売



キット「VIASURE Herpes virus 1, Herpes virus 2 & Varicella Zoster Virus Real-Time PCR Detection Kit」を発売する予定である。

PSSは引き続き、新規感染症項目の検査試薬を素早く開発できる試薬メーカーと協力し、PCR検査の全自動化と省力化、人為ミスと感染リスクの軽減、さらには、定評のある核酸（遺伝子）抽出技術を活かした検査迅速化と高感度化を通し、新規感染症の国内侵入・蔓延防止に貢献していく考えである。